

～コミュニティ・スクールだより No.15～

氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局

苺大福を作りながら楽しく保護者間交流（２月２１日 竜北東小学校）



２月２１日（金）、授業参観に合わせ、竜北東小ＣＳ委員の企画「にこにこくらぶ」で、苺大福作りを行いました。「にこにこくらぶ」は、保護者同士をつなぐ目的で今年度は２回行い、楽しく活動しながら交流し、保護者間のつながりが深まりました。昨年から続けて参加されている人もいて、とても楽しみにされており、始終笑い声に包まれながら苺大福づくりも交流もできました。ＣＳ委員も新たな仲間が増え満足気でしたが、次年度さらにＣＳの輪を広げようと意気込む様子も見られました。

竜北中学校（２月２６日）、竜北東小学校（２月２７日）今年度最後のＣＳ会議で振り返り



２月２６日（水）竜北中学校で、２７日（木）竜北東小学校で、今年度最後のＣＳ会議が行われました。

竜北中学校では、子ども委員が活動を振り返り、ＣＳ委員とともに取り組んだ成果や感想などを述べ、いろいろな活動ができたことへの感謝の気持ちを伝えました。また、ＣＳ委員も年々進化している子ども委員の活躍を喜び、先生方との話し合いでも、次年度に向け活発な意見交換ができました。

竜北東小学校でも今年度の活動を振り返り、より保護者間の交流を促したり、「いきいき感謝祭」や児童の頑張りをさらに地域にアピールしたりするため、さまざまなアイディアがうまれました。さらに次年度に向けて楽しみが広がりました。

第５回氷川中学校ＣＳ会議（３月１０日）生徒と地域と一緒に次年度に向け意見交流



３月１０日（月）氷川中学校でも第５回ＣＳ会議が行われ、１年間の活動を振り返りました。次年度に向け新生徒会も加わり、「コミュニティ・スクールとは？」、「生徒が主体的に動いていく上で次年度はどんなことをしたいか」、「ＣＳ委員にどんなことで力になって欲しいか」を一緒に話し合いました。中学３年間を通し活動を支え、生徒自らが主体的に地域をしっかり学び、地域の一員として盛り上げられるような行事の参画など、次年度に向け、皆で共通理解を図り期待を膨らませました。